

4 西区の現状と課題

西区の各視点における主な現状と課題は下記のとおりです。

1. 支え合いや共生社会の視点から

現状と課題

- 核家族化に伴い、高齢者のみ世帯や一人暮らしの高齢者が増加しています。
- 地域では支え合いの大切さへの理解が進んでいる一方で、引き続き、孤立する高齢者や子育てに不安を抱える人、生きづらさを抱える人などへの支援が必要です。
- 生活困窮世帯の人が安心して暮らせる取り組みが必要です。
- 認知症や障がいなどにより、主張や選択・決定が難しい人への権利擁護を図ることが必要です。

2. 団体・組織間のつながり、連携、協働の大切さの視点から

現状と課題

- 一人暮らしの高齢者の増加や核家族化の中で、地域住民同士でつながり合う仕組みが必要です。
- だれもが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、地域での見守りや支え合い活動の体制づくりが必要です。
- 子育て支援や障がい者支援の体制強化が必要です。
- ひきこもり、8050問題など、制度の狭間の課題は、なかなか相談や支援につながっていない現状があります。

3. 人材育成、地域参加の視点から

現状と課題

- 地域活動の担い手の高齢化や定年制の延長などにより、地域活動の担い手が不足しており、人材育成や新たな担い手の確保が必要です。
- 地域活動に気軽に参加できる環境づくりや情報発信の工夫が必要です。
- 誰もがお互いを認め、信頼し合える顔の見える関係づくりが必要です。

4. 健康や災害時支援の視点から

現状と課題

- 乳幼児から高齢者まで、いつまでも健やかにいきいきと暮らせるよう、引き続き健康づくりを進めていくことが必要です。
- 高齢者等の生きがいづくりや健康づくり、仲間づくりが身近でできる通いの場づくりが必要です。
- 避難行動要支援者を支援するため、日頃からの見守り活動などにより、地域住民による支援体制づくりが必要です。
- 感染症予防対策のために「新しい生活様式」の実践が求められています。